

社会資本総合整備計画事後評価

鎌倉市下水道事業運営審議会における主な質疑等

番号	質疑・意見等の要旨	事務局回答要旨
(2) 下水道事業の現状と課題について		
1	グレーチングに落ちた葉や泥が溜まり道路が冠水し、自治会館が床上浸水したことがある。道路の定期的清掃は行われているが、集水桝などは清掃が行き届いていないと思う。地域住民のマンパワーを活用することはできないか。	(桝蓋は重量があり) 住民の方々に集水桝の清掃をお願いすることは危険も伴うため、難しいと考えている。
2	下水道の広域化、共同化について、課題の説明がなかったが、どのように考えているか。	
(3) 社会資本総合整備計画事後評価		
ア 社会資本総合整備計画及び事後評価について (制度)		
-	質疑・意見等なし	
イ 事後評価の対象となる鎌倉市の計画について		
-	質疑・意見等なし	
ウ 要素事業について		
古都鎌倉の水環境を守る下水道整備計画の要素事業について		

社会資本総合整備計画事後評価

鎌倉市下水道事業運営審議会における主な質疑等

番号	質疑・意見等の要旨	事務局回答要旨
	A07-005持続型下水道幹線再整備事業（ポンプ場）	
3	新ポンプ場の位置が決定できない理由を教えてください。	候補地の1つである処理場付近の公園における検討では、ポンプ場の規模が大きく敷地規模が不足することが判明した。また、処理場内に設置する検討では、既設の処理施設を一部取り壊す必要があるなど、計画の再検討が必要になっている。
4	目標が特別な事情で達成できなかった場合、財務上では特別損益と言い方をするが、予算のときに分からなかったのか、となる。そのような計画性のない計画は立てないように、というのが、財務、監査の大きな見方である。大きな視野で、隣接する自治体などと統合してでも目的を達成して行く、といった努力をもっとしていくべき。	ご意見、ご指摘として受け止める。
5	新ポンプ場の光熱費等も数値化しないと議論は難しい。50mも汲み上げるポンプ場の電気代は、今よりも高額になるのではないかと。具体的なコストとリターンを示すべきである。	電気代の試算はしていないが、現在の6箇所のポンプ場が1箇所に集約することになる。新ポンプ場では、1つのポンプ場の中で2回に分けて汲み上げる構造を検討しており、電気代はポンプ場2箇所分程度と考えている。
6	稲村ガ崎の水質事故を契機に検討を進めてきたもので、コスト削減しようとして始めたことではないことについて理解して良いと思う。	鎌倉処理区の一歩の課題は海岸沿いにある5つのポンプ場の地震・津波対策であり、加えて老朽化対策も必要であるところから検討を始めたものである。今後、新ポンプ場若しくは他の方法などの検討を進め、コストについても検証する考えである。

社会資本総合整備計画事後評価

鎌倉市下水道事業運営審議会における主な質疑等

番号	質疑・意見等の要旨	事務局回答要旨
A 07-006下水道アクションプラン策定業務		
7	公共下水道区域のうちの弾力的浄化槽エリアというのがある。山間部が多いが、集落排水や個別浄化槽などいろいろな知恵を絞って、とにかく結果として公共下水道と同じような効果になるような方法で、利用者も地域にとっても、一番良い方法を考えるべき。	本事業説明の中で、それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性、地域の実情等を総合的に勘案し、下水道で整備することが有利になった旨説明した。ご意見、ご指摘として受け止める。
8	鎌倉市は地形的に入り組んでいるところもあり、未整備地区に一気に下水道を敷設するのは、コスト面でも大変である。いろいろな整備手法を総合的に勘案することが必要。	
9	関谷地区に公共下水道区域の弾力的浄化槽エリアが割と集中しているように思う。隣接する横浜市や藤沢市と協議して受け入れてもらうという考え方があり、一番良い方法を考えていくことも必要。	整備に掛る費用と使用料収入のつり合いが取れないことなどを含め、検討は必要だと思う。
その他意見等		
10	具体的な数値による目標、評価の説明がとても分かり易かった。	
鎌倉市下水道防災事業計画第2期（防災・安全）の要素事業について		
A 07-001山崎下水道終末処理場長寿命化事業		
11	山崎下水道終末処理場長寿命化事業が43億円で、大きな金額だが、具体的には何をとり換えたのか。	焼却炉改築更新と、沈んだ汚泥を濃縮して脱水する設備の機器更新を行った。

社会資本総合整備計画事後評価

鎌倉市下水道事業運営審議会における主な質疑等

番号	質疑・意見等の要旨	事務局回答要旨
	<p>A07-003鎌倉処理区污水管渠長寿命化事業 A07-004鎌倉処理区污水管渠ストックマネジメント事業</p>	
12	<p>マンホール蓋の浮上を防ぐ、というのがあったが、大雨の時にマンホールの蓋が上がるということに対しての効果もあるのか。</p>	<p>最近のマンホール蓋は、ほとんど鍵が付いていてロックされている状況であり、浮上防止が図られている。 古いマンホール蓋は、蓋が乗っているだけのもの、ヒンジ開けのものもあるので、そちらも積極的に交換していく。</p>
13	<p>古都鎌倉を象徴し源氏の家紋である「ささりんどう」がデザインされたマンホールは残っているか。</p>	<p>昔は「ささりんどう」のマンホール蓋があったが、今は真ん中に鎌倉の「鎌」という字を丸くデザインしたマンホール蓋を採用している。</p>
14	<p>S P R 工法という圧送管更生により、管の断面積は減らないか。</p>	<p>コンクリート管よりも水の流れる摩擦が小さくなるため、管の断面積が減っても水の流れは良くなる。</p>
15	<p>マンホール蓋の更新で、令和元年度に10箇所実施し、令和2年度に48箇所実施しているが、工法の違いで実施率が上がったということか。</p>	<p>令和2年度は、補正予算を使い、事業を前倒して実施したため、箇所数が増えたものである。</p>
<p>鎌倉市下水道地震対策事業計画（重点計画）</p>		
-	<p>質疑・意見等なし</p>	
<p>Ⅰ 事後評価（案）について</p>		
-	<p>質疑・意見等なし</p>	